

パイプテントシリーズ 取扱説明書

new pipe Z / New パイプテント / 伸縮式ウイングテント / 片流れテント / メルヘンテント / 防災テント

はじめに...

この度は、弊社パイプテントシリーズをお買い求め頂き、誠に有り難う御座います。
ご使用前に、この説明書を良くお読みの上、正しくお使い下さい。また、本書は大切に保管して下さい。
製品を末永くご愛用頂きます為に、下記に掲げる注意事項を正しくお守り頂きますようお願い申し上げます。

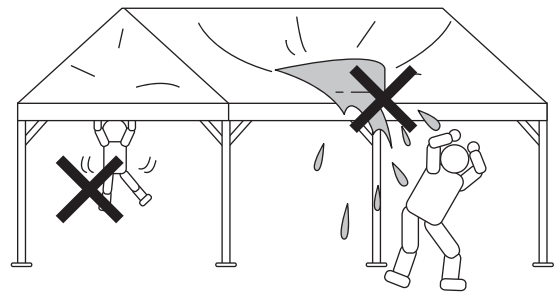
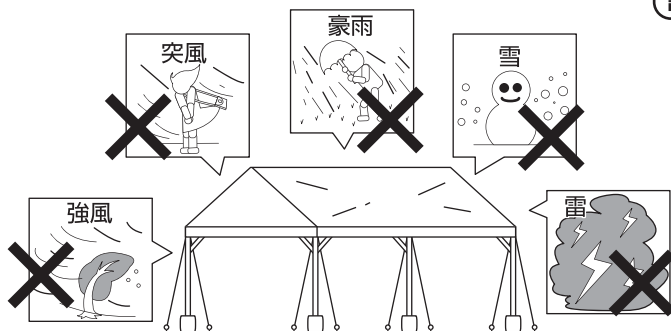
正しくお使いいただくために

1. 取扱説明

- ☆この集会用テントは、短期間簡易的に使用することを目的に製造されたものです。
- ☆組立設置、解体撤去の際は、安全のためにも手袋をご使用下さい。
- ☆このテントはパイプを使用しています。足元に落としたり、手や指を挟んだりすると大変危険です。取扱には十分ご注意下さい。
- ☆組立設置の前に、破損箇所がないかよく確認して下さい。もし破損箇所がある場合は決して使用しないで下さい。
- ☆メーカーの許可なく修理、または改造をしないで下さい。

2. 組立設置上の注意事項

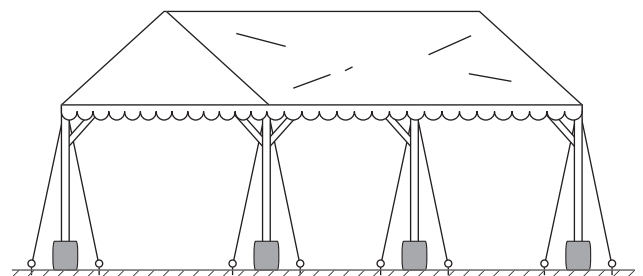
警告!



- ① 次の場合は、テントを使用しないで下さい。
※天候不順の時、強風（風速10m/s以上）が予想される時。
※飛ばされたり、倒れたりする恐れがあります。
- ② テントは必ず、電線、火気、炎から離れた場所に設置して下さい。
※感電する危険があります。
※火災の原因となり危険です。
- ③ テントにぶら下がったり、物を吊ったりして、荷重を掛けしないで下さい。
※破損・倒壊しケガの原因になり危険です。
- ④ テントに弛みがなく、ピンと張った状態にしてご使用下さい。
※テント（天幕）とパイプ（桁）は、しっかりと固定してください。
※多量の水が溜りますとパイプが曲がり、人や物品に損傷を与える原因となります。
- ⑤ テントを組立てる際には、次の事項を注意して下さい。
イ. 周囲から物が落下する恐れのない場所を選んで下さい。
ロ. 平らな場所を選び、パイプテントが水平になるように設置して下さい。
- ハ. テントの組立てには必ず、組立て図の順序に従って下さい。
※効率よく設置ができます。
- ニ. 支柱、桁、棟等の折れ曲げ部分に指や手を挟まないようご注意下さい。

- ホ. テントの組立て・解体等の際には周囲の人や器物にご注意下さい。
- ヘ. このパイプテントは一時的に使用するための構造です。常設用に使用しないで下さい。

- ⑥ 組立が完了後は、必ずテント用ウェイト等
を設置し、テント支柱や桁よりロープで支
線を取り、地面に打込んだクイ等にしっか
りと固定して下さい。



3. 解体、撤去

- ☆解体、撤去は、組立と逆の順序で作業して下さい。その際に、桁、棟、支柱等の折れ曲がり部分、支柱の伸縮部分に手、指等を挟まない様に十分ご注意下さい。
- ☆テントの上に溜まった雨や雪は、解体の前に必ず取り除いて下さい。

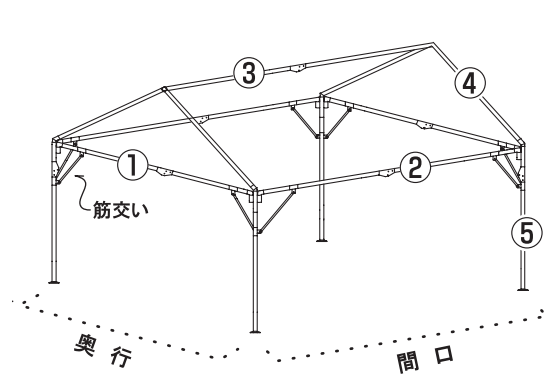
4. 保守、点検

- ☆使用後は、汚れを落とし、風通しのよい場所に保管して下さい。
- ☆フレームのメッキ部分にサビ等有る場合は、早期に補修して下さい。

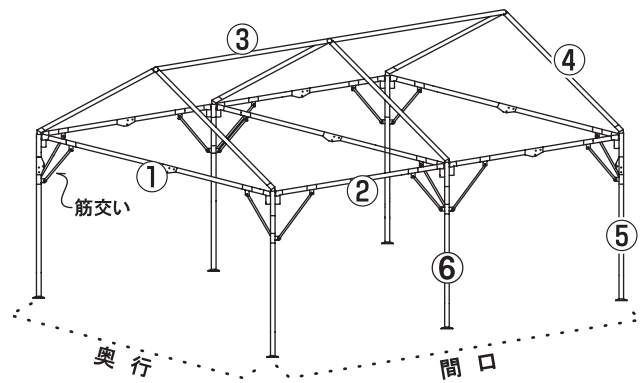
発売元

製造元 **ゴトー工業株式会社**

本社：埼玉県川口市川口6-9-14
TEL 048-252-3903 FAX 048-255-7703



No.	パーツ名称	入数(本)	パーツ図
①	桁(奥行方向)	2	
②	桁(間口方向)	2	
③	棟	1	
④	流れ	4	
⑤	角支柱	4	

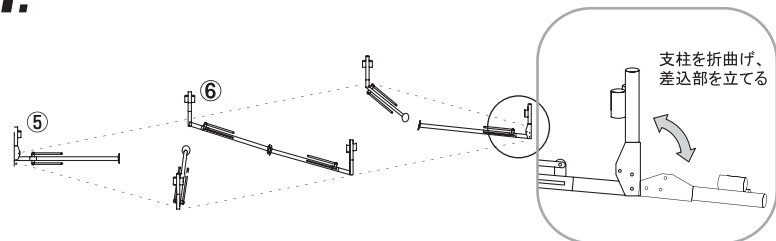


No.	パーツ名称	入数(本)	パーツ図
①	桁(奥行方向)	3	
②	桁(間口方向)	4	
③	棟	1	
④	流れ	6	
⑤	角支柱	4	
⑥	中支柱	2	

組立手順

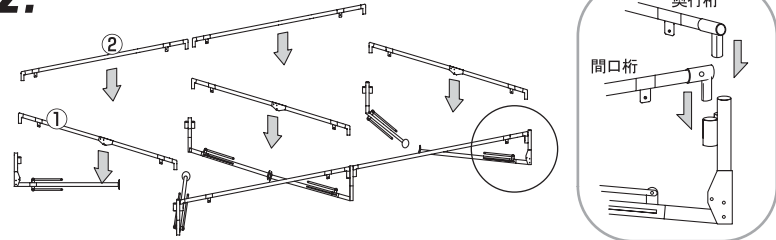
【組立作業は、安全の為3人で行ってください。】

1. 支柱の配置



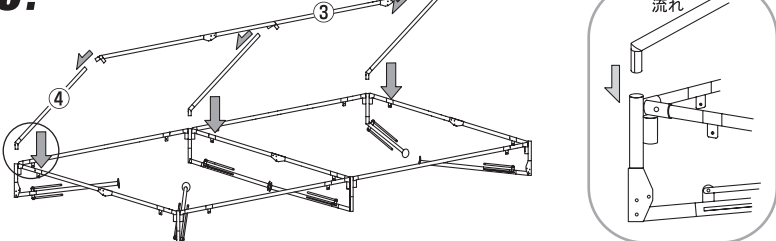
図の位置に角支柱(部品番号⑤)・中支柱(部品番号⑥)をそれぞれ配置します。この時に、支柱の首を折った状態にしておきます。

2. 桁の取付



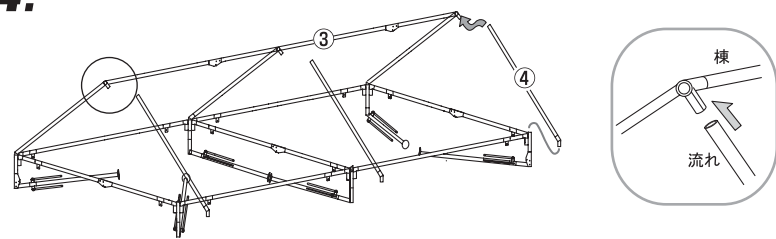
支柱の桁受に、奥行桁(部品番号①)・間口桁(部品番号②)をそれぞれ差込みます。(収納時、桁は半分に折り曲がった状態になっています。)

3. 流れ・棟の取付



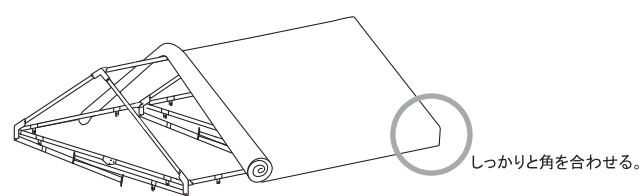
支柱差込口に、流れ(部品番号④)を3本差込みます。その後、棟(部品番号③)を流れの頂上側へ差込みます。

4. 流れ(反対側)の取付



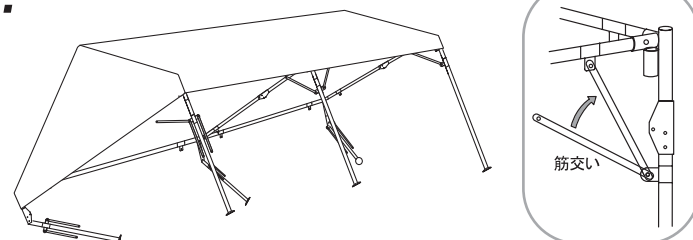
棟の差込口へ、流れ(部品番号④)を差込みます。その後、もう一方を支柱差込口へ差込みます(手順3と同様の方法です)。

5. 天幕を被せる



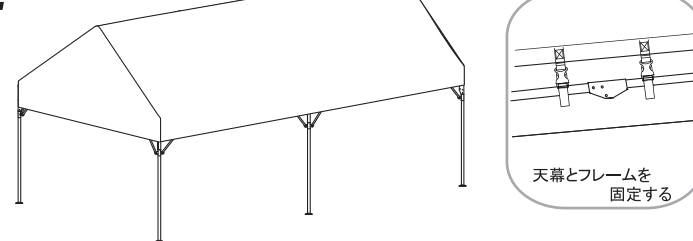
フレームの上に天幕を広げます。この時点では、フレームと天幕はまだ固定せず、四隅の角部分をしっかりと角を合わせます。

6. 支柱を起こす(作業は3人で行って下さい)



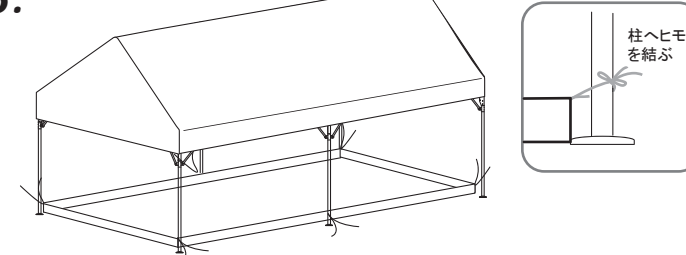
奥行方向の3本支柱を、同時に起こします。その後、筋交いを固定し、(筋交いを固定した側の)天幕をフレームに固定します。

7. 本体の完成



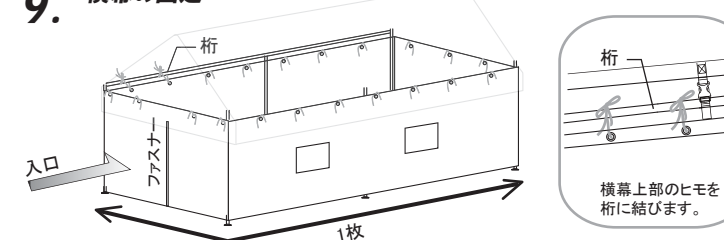
同様に反対の支柱も起こし、筋交いを固定します。天幕にテンションを加え、各支柱が垂直になっている事を確認したら、完成です。

8. フロアシートの固定(オプション)



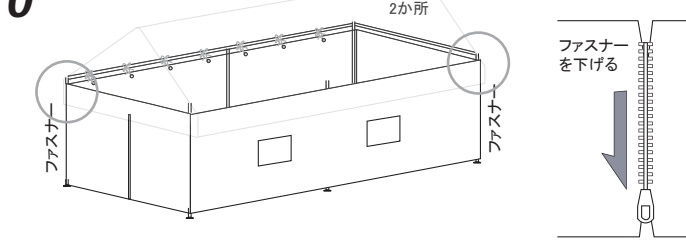
フロアシートを広げ、各柱へヒモを結び、固定します。

9. 横幕の固定



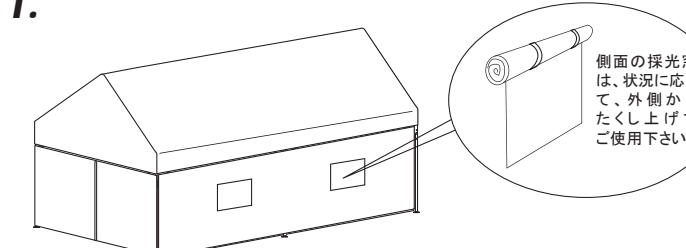
横幕は2枚で構成されています(1.5k+2kサイズ/2k+3kサイズ)。入口ファスナーを妻面(三角屋根)に合わせ、桁へヒモを結び固定します。

10. 横幕の連結



横幕同士をファスナーで連結します。合計で2か所となります。

11. 完成



防災テントの完成です。状況に応じて、付属のクイ・ロープでしっかりと固定してご使用下さい。(オプションのテントウエイトをご使用頂くと更に安心です。)